

令和7年度電気化学会北陸支部春季大会幹事会議事録

日時：令和7年5月29日(木)9:00～10:00

場所：あわら温泉「グランディア芳泉」阿吽（〒910-4193 福井県あわら市舟津43-26）

出席者：(支部長)脇坂、(顧問)阿部、梅田、米沢、高村(幹事)山口、金、井上、辻口(以上、敬称略)

配布資料

- ・2025年度電気化学会北陸支部春季大会(福井)計画の概要
- ・2025年4月第83回電気化学会理事会資料目次
- ・2028年までの北陸支部大会ローテーション案
- ・2025年度電気化学会北陸支部秋季大会(富山) 大会案

議題・報告

(1) 令和7年度総会で承認された執行部の変更について

脇坂支部長より執行部変更の経緯が説明された上で、総務幹事を小野 恭史(富山大学)幹事から西 弘泰幹事(富山大学)に、会計幹事を西 弘泰幹事(富山大)から福島 晴貴様(北酸株式会社)に変更したいとの発議があり、審議の上、承認された。

(2) 令和7年度 春季大会経過報告について(配布資料)

令和7年度春季大会世話役代表の金幹事より春季大会の経過報告がなされた。

- ・今大会では、学生のポスター発表18件と特別講演2件に加え、企業と学生の交流を目的に各地区企業からの企業紹介6件、学生からの研究室紹介6件が新たな試みとして第一日目に行われた。また、恒例の夜なべ談義も行われた。二日目はセーレン株式会社の企業見学が予定されている。
- ・初日の参加者は41名であり、二日目のセーレン株式会社の見学会には26名の参加が見込まれる。

・ポスター賞の選出は14名の審査員による投票により行われ、最優秀賞に「LiNi0.5Co0.2Mn0.3O2の合成過程にフッ素導入が及ぼす焼結特性およびLiイオン電池性能への影響」という題目で発表を行った福井大学の田邊紗也さん、優秀ポスター賞に「様々な担持法で調製したRh-CrOx/KTaO3の水の光分解活性」という題目で発表を行った富山大学の武馬睦さんと、「フッ素修飾アセチレンブラック(AB)粒子のスラリー流動挙動とLiイオン電池性能への影響」という題目で発表を行った福井大学の岡田陸さんがそれぞれ選ばれた。

(3) 理事会、支部長連絡会議等の報告(配布資料)

脇坂支部長より、3月7日開催された第82回理事会報告、4月7日に開催された第83回理事会報告、メールでの理事会臨時審議に関する報告があった。第82回理事会では、2025年度会長、副会長、業務執行理事の選任など、第83回理事会では各賞の募集、新任支部長、専門委員会委員長の選任などが行われたことを報告した。メールでの理事会臨時審議では、日本学術振興会育志賞に赤井亮太氏を推薦したことが報告された。

(4) 2026電気化学秋季大会(富山)について

電気化学会2026年の秋季大会は富山で開催されるにあたり、大会実行委員長と大会学術企画委員長の選任が行われた。脇坂支部長が大会実行委員長に立候補し、承認された。阿部顧問より大会学術企画委員長に富山大学の萩原幹事が推薦された。萩原幹事が欠席のため、後日、本人の意思確認をもって、大会学術企画委員長へ選任することが承認された。

(5) 令和7年度 北陸支部秋季大会、令和8年度春季大会の担当について（配布資料）

脇坂支部長より、2028年度までの春・秋北陸支部大会のローテーション予定について説明がなされた。次回令和7年度秋季大会の計画状況について、世話人代表の萩原幹事（富山大学）が作成した資料に従って脇坂支部長より報告がなされた。開催日の候補、会場、大会テーマ、招待講演者候補、特別講演者候補、企業見学会候補などについて説明がなされた。

令和8年度春季大会の担当は新潟地区であり、世話役について脇坂支部長からこれまでの経緯について説明がなされた。新潟地区では長岡技術科学大学と新潟大学で交互に担当しており、令和8年度春季大会は新潟大学の担当の予定である。長岡技術科学大学の幹事からの依頼により、新潟大学に世話役の打診を支部長から事前に行つたが、良い回答は得られていない。それを踏まえ、長岡技術科学大学の幹事から、県内交互担当を可能とする新潟大学の幹事増員を議論してほしいと依頼があった。議論の結果、以下の方針で幹事増員と令和8年度春季大会の準備をすすめることが幹事会で承認された。

- 1 幹事会の意向として支部長が新潟大学に改めて世話役の打診を行う。
- 2 担当不可の場合、新潟大学内から新しい幹事候補者の推薦を依頼する。
- 3 推薦がない場合、支部長より直接、新潟大学内会員へ打診する旨、承諾してもらう。
- 4 新潟地区で担当困難と判断した場合、その対応は支部長に一任する。

以上